

発行所 全日本建設交運一般労働組合
 栃木県本部 〒327-0315
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
 Tel. 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
 www.kenkourou.or.jp/
 E-mail: dqj06744@nifty.com

CTGの建交労とちぎ

10月から強行されたインボイス制度 大会で経過措置など学習会開催

登録めくりの混乱多発

十一月十二日、県本部・ダンプ支部の定期大会を開催、現在組合員の最重要課題になっているインボイス制度について学習会を開催しました。

十一月十二日、県本部・ダンプ支部の定期大会を開催、現在組合員の最重要課題になっているインボイス制度について学習会を開催しました。

十月から強行導入され、組合員からは様々な相談が寄せられています。

「登録しないと配車できかないと言われた」「登録しろとは言われなくても消費税を払

大会ではインボイス制度の基礎と周知されていない免税事業者との取引に係る経過措置を重点に学習を行いました。今後職場、グループ単位での学習会なども行う予定です。

政府は取引上の立場を利用して未登録業者を排除したり消費税ダ

混乱はますます広がる

組合では引き続き制度の中止を求めつつ、登録対応等にも取り組まざるを得ない状況です。



燃料暫定税率の引き下げを求める署名に多くの人が賛同しました。



岸田政権の支持率は過去最低に。政権交代の声は高まっています。



代表して石川副委員長(左)を表彰

40年以上在籍者を表彰

50周年記念として大会のなかで、在籍40年以上の組合員23人に対する感謝状の授与が発表されました。

代表して在籍50年の石川副委員長が表彰されました。

【対象者】

・秋野勝典・石川秋義・石垣泰雄・森屋正雄・山木正一

・伊藤均・大島広明・大塚智進・亀山久・亀田豊次・川田克彦・金子新平・久保光明・熊谷達夫・栗原照方・齋川利雄・杉井健一・杉江久男・関澤久男・林田良治・藤井誠・真神正雄・森屋正雄・山木正一

関東ダンプ協議会結成50周年

組織・運動の継承を確認



結成当時は「オイルショック」そして今「燃料高騰」ダンプ労働者の厳しい状況を訴え続けていきます。

関東ダンプ協議会は1973年結成されました。結成50周年を記念し、十一月十四日都内で、歴代専従者などによる懇親会を開催しました。

初代書記長の杉山忠道氏、元議長長の寺田幸雄氏は「ダンプ労組は自ら道を切り開いてきた。厳しさはあるが組織・運動を継承してもらいたい」と後輩専従者を激励しました。

参加者全員でこの間亡くなった専従者に黙とうを捧げました。

岸田政権は今後5年間の防衛費を4.3兆円にしようとしています。いま国民生活を防衛せずして国の何を守るのか。「燃料税引き下げ」の世論を高めたいと思います。ネット署名も継続中です。

ヤマト運輸3万人リストラ問題 配置転換による雇用継続を

ヤマト運輸が日本郵便に業務の一部を移管するため、従事しているパート社員、配達員など全国で約3万人が来年1月末で職場を失う危機に直面しています。

とそれまでの「雇用契約終了」の主張を変えました。今回の団交では、会社から組合員が受けた配置転換の提案（九〇職種）について協議しました。

多くの組合員が初めての団体交渉でしたが、本社の人事担当者を果敢に追及しました。

10月、茨城県土浦市にあるベース（集配ターミナル）で働くパート女性社員が建交労に加入し労働組合を結成十一月八日、二回目の団体交渉を土浦市で開催しました。

ヤマトは一回目の団交で「解雇ではなく配置転換を進める。そのうえで余剰人員については退職をお願いする」と

組合員からは「配置転換という慣れない仕事をやる不安がある」「本社とベースとの意思疎通ができていない」「なぜ郵便局に推薦してもらえないのか」などの疑問が出されました。次回団交は12月上旬の予定です。



組合側16人、会社側5人が出席。労働組合をつくったことで雇用を守り条件面も協議できるようになりました。

燃料高騰支援を栃木市に要請

十一月二十一日、栃木県労連の取り組み地域総行動に参加、自治体などに対する要請を行いました。

栃木市役所に対して燃料代の高騰に苦しむ市内事業者に対する補助金を実施するよう要請しました。



石井書記長が要請書提出

栃木市では昨年白ナンバーのダンブなども対象に実施しましたが、生活物価の高騰などによりさらに厳しくなっている今年はまだ未定のままです。住民本位の市政を求めました

バイク部 「奥佐野ツーリング」



県境(峠)付近のゲート。林道の入口付近にもゲートがあって車だところまでは無理。道は荒れています。自己責任で。

「奥佐野」ご存知でしょうか。組合事務所のある佐野市の北部山間部に広がる人跡未踏未開の部族が棲息する秘境、そこが「奥佐野」です。

いま佐野市ではこの「奥佐野」を観光資源とする様々なプロジェクトに取り組んでいます。組合でも「奥佐野」の魅力を紹介するため、秋の一日バイク部に

秋の健康診断会行なって…

即要治療2名



10月15日(日)、秋の健康診断会を開催しました。参加者は38名でした。組合では毎年春と秋、受診料の補助を行い低料金での健康診断会を行っています。

今秋の健診はコロナ感染対策を緩和し数年ぶり

200以上あるなど「よくここまで来れました」という組合員が2名発見されました。毎年運転中の体調不良による事故が発生しています。最悪の場合本人だけでなく他者の生命を奪うことにもなってしまう。

どうか健康管理を！



こんな絶景が広がります

「奥佐野」を行きました。めざすは来春開通が予定されている作原地区から群馬県みどり市に抜ける林道作原沢入線です。開通は数十年にわたる佐野市民の悲願です(？)。いち早く走つてその魅力を紹介・と思つて行ったら峠付近で通行止め。残念ながら群馬県への越境は断念。しかし、ここまでも十分すばらしい山岳道路です。標高が高く絶景が広がります。

峠付近を散策すると熊の爪痕が残る大木を発見、襲われる前に速やかに退却しました。

◎組合では自動車保険・生命保険の取り組みを強めています。現在他社で加入の皆さん。ぜひ証券を拝見させていただきます。自動車保険の場合団体割引が適用されます。